

ニプロ吸引カテーテル

再使用禁止

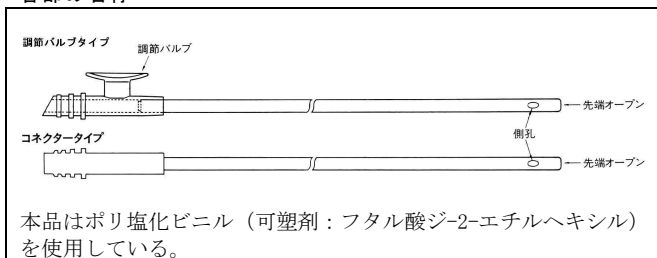
【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

*【形状・構造及び原理等】

本品は、主に喀痰吸引、気道内喀痰除去の目的で用いる。

各部の名称



【使用目的、効能又は効果】

滅菌済みであるので、そのまま直ちに使用できる。

【操作方法又は使用方法等】

1. カテーテルと吸引調節器を接続管でしっかりと接続して下さい。
2. 吸引調節器のダイヤルで吸引圧を調節します。
3. カテーテルに滅菌水を通水します。
4. 吸引圧が加わらないようにカテーテルの基部を操作し、カテーテルの先端を鼻腔に沿って咽頭部まで進めます。口腔内から吸引する場合は十分に開口させ、舌を前に出させて下さい。気管内チューブ挿入時は、気管内チューブに沿ってカテーテルを挿入して下さい。
5. 吸引圧の調節は、調節口タイプは、調節口を塞いで調節します。コネクタータイプは、接続部でカテーテルを折り曲げて下さい。
6. 目的の場所にカテーテルを挿入したら、カテーテル内の吸引圧を加えると同時に、先端をくるくると回しながら吸引して下さい。

*＜使用方法に関連する使用上の注意＞

1. 使用前に、カテーテルのサイズや形状が挿入部位に適合していることを確認して下さい。
2. 他の医療機器と併用する場合は、確実に接続又は取り付けられていることを確認して使用して下さい。
3. 接続部への薬液等の付着に注意して下さい。[接続部の緩み等が生じる可能性があります。]
4. カテーテル挿入時は口腔、鼻腔等挿入する部位の粘膜への損傷に十分注意して下さい。
5. カテーテル挿入に抵抗がある場合は、カテーテルを抜いて、原因を解消した後、もう一度挿入し直して下さい。
6. カテーテルを挿入する際は、挿入部位への入れすぎに注意して下さい。[カテーテルを抜去できなくなる可能性があります。]
7. 気管内チューブに本品を挿入する場合は、気管内チューブ内径に合ったカテーテルサイズを選択して下さい。
8. カテーテルを抜去する際は、ゆっくりと引き抜いて下さい。[粘膜損傷を引き起こす可能性があります。]

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 包装が破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- *○併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用すること。
- *○本品は脂溶性溶剤存在下で塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出する可能性がある。
- *○あらかじめ接続部に緩みがないことを確認してから使用すること。使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、液漏れ及び詰まり等について、十分注意すること。
- *○カテーテルが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないこと。
- *○カテーテルを鉗子等でつまんで傷をつけないように、さらに、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意すること。[液漏れ、空気混入や破損が発生する可能性がある。]
- *○カテーテルとコネクター等の接続部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷を加えないよう注意すること。[カテーテルの抜け、破損、伸び等が生じる可能性がある。]
- *○カテーテル挿入時には、歯、鼻甲等及び鋭い器具等でカテーテルに傷をつけないよう注意すること。[液漏れ、空気混入や破損が発生する可能性がある。]
- *○コネクターを接続する場合は、過度な締め付けをしないこと。[コネクターが外れなくなる又は、コネクターが破損し、接続部からの液漏れ、空気混入が生じる可能性がある。]
- *○体動でねじれると流路が閉塞する可能性があるので注意すること。
- *○鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、気管等の粘膜への損傷に十分注意すること。
- *○接液部を汚染させないこと。
- *○使用期限を過ぎたものは使用しないこと。
○包装を開封したら直ちに使用し、使用後は感染防止に留意し安全な方法で処分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法
水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管のこと。
2. 有効期間・使用の期限
使用期限は外箱に記載（自己認証による）。

【包装】

50本／箱

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売（問い合わせ先）

ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号

電話番号：06-6372-2331（代表）

製造（輸入先）

ニプロ（上海）有限公司

[NIPRO(SHANGHAI) CORPORATION LIMITED]

中華人民共和国

[People's Republic Of China]



ニプロ株式会社